

事例で学ぶ Net モラル 年間指導計画 (案)

2026年度版

3 学期制 小 学 校

学年	学期	ねらい	分類※1	事例タイトル※2
1年生	1学期	タブレットパソコンを使うときに気を付けることや守らなくてはいけない約束を理解し、約束を守りながら主体的に学習に取り組む態度を身に付ける。	1. 情報社会の倫理	タブレットパソコンを使うとき (C-30)
	2学期	「ネット依存」になる原因を理解し、「ネット依存」にならないための姿勢を身に付ける。	3. 安全への知恵	ネット依存 (C-24)
	3学期	ネット上には様々な種類のサイトが存在することを知り、目的外のサイトや不適切なサイトに遭遇したとき、どのように対処すればよいかわかる。	3. 安全への知恵	不適切なウェブサイト (A-38)
	いつでも	タブレットパソコンを使用する際のポイントを確認し、自分の腕の長さを測ることで、十分な視距離を確保する。	3. 安全への知恵	画面までの距離と姿勢 (H-01)
2年生	1学期	ID とパスワードの役割について理解し、使い方や管理の方法がわかる。	4. 情報セキュリティ	ID とパスワードの役割 (A-27)
	2学期	身近に起こりそうな事例を通して、個人情報について理解する。	3. 安全への知恵	個人情報の取扱い (A-42)
	3学期	タブレットパソコンやスマホでインターネットを使うときの注意や上手な使い方を知り、便利に正しく使おうとする意欲を持つ。	5. 公共的なネットワーク社会の構築	ネットと私たちの生活 (C-27)
	いつでも	自分のデジタル機器の使用時間をふり返り、使用状況を把握し、改善が必要な場合には改善方法を考える。 屋外で過ごす大切さを知り、屋外で過ごす時間を増やすように意識させる。	3. 安全への知恵	時間についての約束 (H-02) 屋外で過ごす大切さ (H-06)
3年生	1学期	ゲームのアイテムやトークアプリのスタンプのような、手元に形として残らない買い物は、買すぎないように気を付けることを理解する。	3. 安全への知恵	スマホで課金 (A-22)
	2学期	家でもタブレットパソコンを適切に活用しようとする。	5. 公共的なネットワーク社会の構築	持ち帰り学習 (C-32)
	3学期	作品には作者の思いが込められていることを知り、作者の思いを大切に参考にする正しい方法を知る。	1. 情報社会の倫理	作品の著作権 (C-34)
	いつでも	タブレットパソコンの画面の明るさの調整方法や光の映り込みへの対処法、動画の撮影時に気を付けることを知り、健康に配慮した使用をする。 近視のしくみを知り、予防方法を知る。	3. 安全への知恵	画面の見やすさと健康 (H-03) 近視のしくみと予防 (H-08)
4年生	1学期	なりすましのリスクを知り、正しいアカウントの使い方を実践できるようにする。	4. 情報セキュリティ	なりすました入力 (A-46)
	2学期	肖像権とは何かを知り、写真に写る人の気持ちを尊重し、人が写っている写真の取り扱いに注意する態度を身に付ける。	1. 情報社会の倫理	写真の肖像権 (C-28)
	3学期	相手の立場に立って思いやりのある行動をとることは、ネットワークでのコミュニケーションでも大切であることを知る。	1. 情報社会の倫理	ネットいじめ (B-26)
	いつでも	タブレットパソコンの画面を見続けることで、目が画面に近くなってしまったり、まばたきが減ってしまうことを知り、まばたきの大切さを学び、目の健康に配慮した使用をする。	3. 安全への知恵	まばたきの大切さ (H-05)
5年生	1学期	Web サイトや広告内にある無料のキャンペーン等には、個人情報を入手しようとする目的のものがあることを知り、入力すべきかどうかを判断できるようにする。	3. 安全への知恵	個人情報は慎重に (A-39)
	2学期	スマホで撮った写真には個人情報に結びつく情報がたくさん含まれており、ネットに写真を投稿する時には、内容をよく考えて投稿をする必要があることを理解する。	3. 安全への知恵	写真の投稿 (B-24)
	3学期	作った人やその気持ちを大切にすることを考える。	1. 情報社会の倫理	著作物の利用 (C-33)
	いつでも	デジタル機器の画面が小さく見づらいときは、表示サイズを大きくするなどして、健康に配慮した使用をする。	3. 安全への知恵	画面の大きさによる違い (H-07)
6年生	1学期	SNS への不適切な投稿が、自分の将来に悪影響を与える可能性について理解する。	2. 法の理解と遵守	デジタルタトゥー (B-37)
	2学期	二次元コードの仕組みや、利用の際の注意点が分かる。	3. 安全への知恵	二次元コードの特性 (S-01)
	3学期	正しい情報を見分けるために気を付けることは何か、考える。	3. 安全への知恵	誤った情報 (A-45)
	いつでも	目的に合わせたタブレットパソコンの適切な使い方を知り、健康に配慮した使用をする。	3. 安全への知恵	学習に合わせた使い方 (H-04)

※1 「情報モラル指導モデルカリキュラム表」(文部科学省) 対応表における分類。

※2 こちらの表でご案内している事例には、全て e ラーニング版があります。